

第 32 章

土着民女性の為の土着民労働者

女性の奉仕—中国の社会生活を垣間見る—出産から結婚までの珍仔(Tin-a)—出産から結婚までの外国人労働者—生まれつきの野蛮人—無意味な作法—熱病—土着の聖書女性—彼女の訓練—職場—女子校—学科—学生—成功する計画

イエスが全ての町や村で説教をされた時、12人はイエスと共にいった。"そして特定の女性も"教会の偉大な指導者は、自分が建てている、生ける神殿の女性達の特別な儀式の必要性を良く知っていたし、将来のあらゆる時代にも存在するだろう。北台湾では、最も熱心で成功した労働者達がいた。彼らは私達の初期の苦闘に参加していた学生達と一緒にいて、勇敢にも殆んど独力で、激しい迫害の波を切り開いた女性達であった。彼女達の素晴らしい思い出は、今でも教会に依って愛されている。彼らの中には、彼らに不利な戦いをして、生きて死んで行った者もいた。彼らの中には、キリスト教世界の塀で囲まれた庭園で生活する人達には、容易に理解されない、唯の自信と粘り強さと決意を持って、生きている神にしがみ付いていた。

中国の女性の生活についての明確な概念を、西洋のキリスト教徒に伝えるには、どうすれば良いであろうか。チェルケス人とモンゴル人の間に存在する、溝を埋める難しさや、西洋の姉妹の習慣、やり方、考え方が全く理解出来ない女性に、手を差し伸べる難しさ、そして多くの場合、馬鹿げて不条理なことを示すことは、全く不可能であろうか。

しかし、中国の社会生活についての洞察がなければ、福音を携えて、台湾の女性に手を差し伸べるに当たっての困難の本質や頑固さ、またその困難を克服する方法を理解することは出来ない。一瞥だけを与えることが出来るが、一瞥を欲する人には、意味があるかもしれない。

子供のいない中国人の妻は悲しみに暮れ、屢々悲惨な死を迎える。自分の子供がいない人は、頻繁に子供を買ったり、養子にしたりする。或いは、夫が2人目の妻を家に連れて来ることもある。予想される様に、2人目の女主人が設置された時の幸せは更に少ない。もし最初の妻が夫に愛されれば、彼女の息子が夫の墓で崇拜することは決してない、と言う彼女の悲しみは益々激しくなる。不妊は妻を虐待する為の、十分な正当化と考えられている。即ち、妻を虐待したり、世界の冷酷な慈善事業に追放することである。

娘が生まれた時、その出来事には殆んど注意が向けられない。唇裂等の何らかの形で変形した場合は、直ぐに始末されることがある。親が既に女の子を持っていて、貧しくても、母親の本能を犠牲にしても、母親の本能は簡単ではなく、遅かれ早かれ捨てられることがある。人生の為の闘争は、困難で痛切なので、歓迎されない女の赤ちゃんは、早く犠牲になればなる程良いのである。

しかし、少し珍仔(Tin-a)について説明しよう。例えば、彼女がかなり裕福な商人の家で、この世界に入ってきた場合、彼女は、立派な輪の中で女性として成長する運命にある。しかし、彼女の子供時代には、何と多くの奇妙な迷信が結び付いているのだろうか。4歳になると、彼女のピンクでふくよかな爪先は、足の裏でしっかりと曲げられ、窮屈な姿勢をとり、丈夫な綿の包帯でしっかりと固定される。その後、つま先の大きな部分が、足の裏の目立つ部分になり、爪先の先の尖った靴に、足を突っ込むのである。彼女は、このみすばらしい靴を日夜履いている。

母親は、娘の悲鳴に逆らって身を固める。と言うのも、珍仔が良い結婚の機会を台無しにして、一生奴隷にされない様に、足を疎かにしては、ならないからである。

数年間、彼女は兄弟達とドアの所で、遊ぶことを許可されている。彼女は周りの人達の遊び道具になり、叱られ、甘やかされ、順番に殴られる。彼女は自分を支配する兄弟達に、従順でなければならないことが理解されており、やがて、彼女は米を炊いたり、服を洗ったり、服を縫ったり、刺繍したりすることを学ばなければならない。彼女は、自分の存在の偉大な目的は、結婚することであると信じているので、可能な限り外見的に魅力的なものにする為に、あらゆる人工的で、自然な手段を用いなければならない。心と知性は、訓練と呼べるものであれば、悲惨な訓練を受ける。彼女は、幾つかの中国のことわざと、道徳的な格言を教えられ、それらは舌の上を快く通るが、一方で、彼女の心は、悪意に満ちた噂話、下品な笑い話、汚い言葉、千もの奴隷の迷信で満たされている。

10歳頃になると、彼女は家に閉じ込められ、彼女の家族以外の誰も、彼女と会話することを許されない。見知らぬ人が父親の家に入ると、部屋の隙間から覗き見をする可能性があるが、彼女は自分の姿を見せてはならない。彼女が実際に何であろうと、少なくとも、彼女が家を花嫁として去る時、数百ドルを楽しみにしている両親は、彼女を数え切れない程の美德に恵まれていると表現している。そして彼女自身、正月や異教の祭りで、シルク、サテン、パウダー、宝石、刺繍、香水を使って、素晴らしい見せ物を演じなければならない。何よりも、彼女は、かなり簡単に言えば、余りにも控えめで、男性に彼女を見られることに耐えられないと、公言しなければならない。この監禁の期間は親にとって不安なものである。なぜなら、彼女が拘束を突破して、通りで一人で見られると、彼らの労働は全て失われ、家族は恥をかいて、彼女の結婚の機会は永遠に失われる社会の状態だからである。

この様な事態を覆い隠したいと思う人もいるだろうが、異教徒の国の道徳が、非常に低いと言う事実には直面している。もっと高くなると、期待出来るだろうか?恐らくそうではないだろうが、それでも、光景は明るい面を持っている。キリストの福音の力が見られるのは、その様な条件の下である。既にその力は、清楚で美しい容姿を持ち、女性らしい振る舞いをし、人格を愛する女性や少女を、そうした環境から育てることに現れている。

珍仔が約 14 歳になると、一般的には叔母または、機知に富んだ老婆である仲介人が確保されます。この殆んど不可欠な女性は、多くの旅行をし、多くの会話をすることに依って、何人かの若い男性の両親と婚約の手配をする。この婚約は、通常、結婚予定者の父親と母親に支払われる、100～300 ドルの金額を考慮して決まる。占い師が相談を受け、縁起の良い日が決まった後、花婿の家で御馳走が用意される。花嫁は近くに覆いをした輿・椅子に運ばれ、その上に赤い布が掛けられる。先祖代々の位牌や神様の前で神様とお辞儀をし、その他多くの儀式を経て、彼女は以後、魂と肉体をこの男とその母親のものとし、彼らが適切と考える様に、使役したり悪用される。中国人を最も愛している私達は、余りにも屢々中国人花嫁と対面する、残酷な束縛を告白するのが、最も悲しい。

さて、次の様な疑問が出て来る。その様な社会的慣習や、台湾の様な国で、女性達はどの様にして、イエスの福音に達し、教えられるのであろうか。外国人の女性が淡水で家事を始めるとする。紅顔で、健康、そして希望に満ちた彼女は、言語を勉強しながら、自分の家事が出来ると思っている。この中で彼女は数ヶ月間を過ごす。でも暑い日が来て、それに伴って熱が出る。

顔の色が抜け、腕の力が抜けた女性は、家事を中国人男性コックに、任せなければならない。彼女は忠実に勉強するが、中国語はこの世で最も複雑で、難しい言語である。明確に表現することを学んだとしても、1年の終わりに自分が表現出来る考えが、どれ程少ないかを知り、彼女は驚愕する。彼女は熱心で、或いは、仕事に行くことを希望し、中国人の中に出て、群衆は彼女を凝視しようとする。彼女の服装は彼らのものとは異なり、彼女が男性であるか、女性であるかについての、幾つかの論争が起こる。「野蛮人!生れ付きの野蛮人!」彼女が親戚から遠く離れた、外国の土地にいると言う事実そのものが、彼女の評価を低下させている。北台湾の異教徒達は、過去 20 年間に西洋の土地について学んで来たが、彼らは米を得るのに忙しく、西洋のやり方や習慣を学ぶ時間を割かないだろう。その外国人女性は、歩いて通りに出ると言う、単純な行為で、彼らの礼儀作法の考えに腹を立てている。

彼女は恐らく、彼女が両親と面識のある、幼い少女が病気であり、キリスト教の共感と、彼女が彼女に何かしらの繊細さを与えて、彼らの家に行くのを助けてたい、という願望を持っていると聞いたことがある。彼らは怯えている様には見えず、ひょっとしたら大歓迎の気持ちで、彼女を招待するかも知れない。彼女は彼らに少し話をしようと試み、彼らに一つの神について語ったが、彼女は、彼らのお喋りや、ドレス、帽子、ボタン、そして、なぜ外国人女性が足ではなく、腰を縛るのかについての質問の中で、無力感を感じている。彼らは彼女に対して留まって、お茶を飲み、また来る様に促し懇願する。やがて彼女は、これの大部分が中国の作法と礼儀の一部であり、空虚で無意味であることを学ぶだろう。実際の所、中国人は彼女が、病気のある場所への訪問を禁止し、家族以外の誰でも、病室に入ることを禁止することに、敬虔な社会の通常の規則を全く無視していることに驚く。

彼らは、一般に野蛮人、特にこの野蛮人を嘲笑し始める前に、彼女が耳を失うまで待つことはない。心が込められた、誠実な、壊れた中国語で会話しようとする外国人女性。本当に良いことをしたい、その様な状況下で、彼女に共感することが、出来ない人はいるだろうか?時間とキリスト教の影響力の平準化力が、これらの習慣を変えるかも知れない。その間、彼らは考慮されなければならない、そして目を見張る様な、現実の事実と直面しなければならない。

外国人女性は、ほぼ完全に海港に監禁されていることに気付いた。内陸で1週間または10日間は、発熱することが多く、永久的ではないにしても、彼女の仕事が、一時的に中断されることを意味する。山を越えてカプツラン平原で、働く聖書の女性に加わることは、問題外である。道が屢々通れないと言う事実を別にすれば、気候は余りにも湿っていて、地域は余りにも不健康なので、土着民の労働者でさえも、それを恐れている。外国人が苦難のないまま、何日もそこで過ごしたことはなく、その国を知る医療関係者は、外国人の女性がその試みをすることに同意しなかった。北部では最善の配慮をしても、屢々熱で衰弱することがある。忠実な勉強と努力の4年目か5年目の終わりには、小さな中国人女性に比べて、彼女は殆んど教えることが出来ない。この母国語の聖書の女は、自分の人々の言語と習慣に、完全に精通しており、彼女の外国の姉妹が言語の慣用句に苦しんでいる間、彼女が適性と効果で引用して説明出来る様に、聖書で訓練された、そして、中国社会の千のルールの一つに、違反する永久的な危険に曝されている。

次に、これらの土着の聖書の女性の幾つかを見て、彼女が何を達成しているか見てみよう。彼女は誰であるか?彼女の歴史は何であるか?彼女はどんな仕事をしているか。白髪の子供、家族を育てたことのある人、孫を持つ人、それ故に、尊敬を受ける意志のある人がいる。彼女の息子の何人かは、結婚しており、彼女は彼らの家庭に影響力を持っている。

ある時、彼女はイエスのことを知らない時に、戸口の近くに礼拝所が開設された。最初は“異国の悪魔”の悪口を言ったが、格子の窓から歌うのが好きだった。それから、彼女は牧師の話聞いて、生徒達に気付いた。生徒達は、とても身なりが良く、利口で、愛想が良い様に見えた。とうとう彼女は建物の中で奉仕を楽しみ始め、益々真実の説明に喜びを得た。特に詩篇と賛美歌を愛していたのは、慰めとなる真理に、慰めを見出したからである。彼女の偶像は捨てられ、自分はキリスト教徒だと公言した。やがてカナダ人の女性は、多額のお金を出し、女子校が建てられた。そこで何度か会合を重ねた後、阿瑣(A So)は礼拝所に派遣されて、そこでは子供や若い女の子達を教えたり、近所の人達を訪ねたり、千もの質問に答えたりして、伝道、宣教師、神、天について、そして彼女が学んだ、真理を彼らに話したり、彼女がどの様にして偶像を捨て去ったか、を話したりするのに、十分な時間を費やした。彼女は本を読み、彼らは驚き、祈ると、彼らは聞き、歌うと、彼らは喜ぶ。彼女は彼らの病気や苦しみを知り、牧師やその妻と同様に、彼らを慰めようと努力する。彼女は、隣人の住居にいつ、どの様に現れるか、また、彼女の訪問が受け容れられる様に、行動する方法を知っている。彼女は白髪が多く、容貌が美しく、女性的な作法があることで尊敬され、異教徒の女性達は彼女を尊敬している。なぜなら、牧師の妻の様に、彼女は人生の全ての事柄に関して、彼らよりも優れているからだ。彼女は女性達に同情している。彼女達と同じ様に苦しんで来たからだ。彼女は足かせのことをよく知っている。病気と死は彼女の家であって、彼らの愛する子供達が連れ去られた時、彼女はどの様に同情すべきかを知っており、彼女自身の悲しみの暗い日々の中で、彼女自身が神から慰めを受けたので、彼女は遺族に会いに行き、羊飼いと彼の家族について、無駄な話をしなかった。毎週土曜日には、新しい改宗者の家を訪れ、次の日のある時間には、準備をしておく様にと女性達に言い、その時間になったら、彼女達に礼拝へ行く様に呼び掛ける。

次第に、そして、殆んど気付かれない様に、女性達は真実に引き寄せられ、この献身的な聖書を愛することをどれだけ学んだのか、彼女が別の拠点に移るまで殆んど知らない。これらの聖書の女性の中には、最も熱心で効率的な労働者が少なくなく、彼らは皆、土着民の伝道者を大いに助けている。その中には、家族全員をキリストの下に、連れて行く為の手段となったものもあり、そうした土着民の労働者達の仕事には、益々、熟練者の印が付けられている。

大学は男性を教育する為に必要であり、女性と少女が一定の監督を受け、高齢者の生活を変え、若い人達の生活を正しい方向に、導く様な影響を受けながら、何ヶ月も一度に過ごすことが出来る様な、中心のどこかに大きな学校の建物も必要であった。カナダの長老教会の女性海外伝道協会の女性達は、熱心に名乗り出て、建物に必要な資金を提供した。1883年の終わり近くに、私達はオックスフォード大学と同じ敷地で、建設工事を始めたが、そこから少し離れていた。私達は多くの男達と深夜まで働いた。生徒達は外に立って、労働者を元気付ける為に、賛美歌を歌った。11週間の内に、切り出された石が整然として、広々とした構造が開示される様になった。オックスフォード大学と同じ大きさで、同じ間口である。正面玄関は、ホールまたは集会室に直接通じている。この両側には小さなクラスの部屋がある。広間の後ろには広間があり、それを囲む寄宿舎があり、台所、召使の寝室、倉庫がある。ヨーロッパやアメリカの女子大で見られる様な快適さは必要ない。これらは、外国の贅沢が与えられるべきではない、何故ならば自分の家の為に、女性に不適當だからである。採光と換気が十分であることが最も重要であり、十分に備えられている。

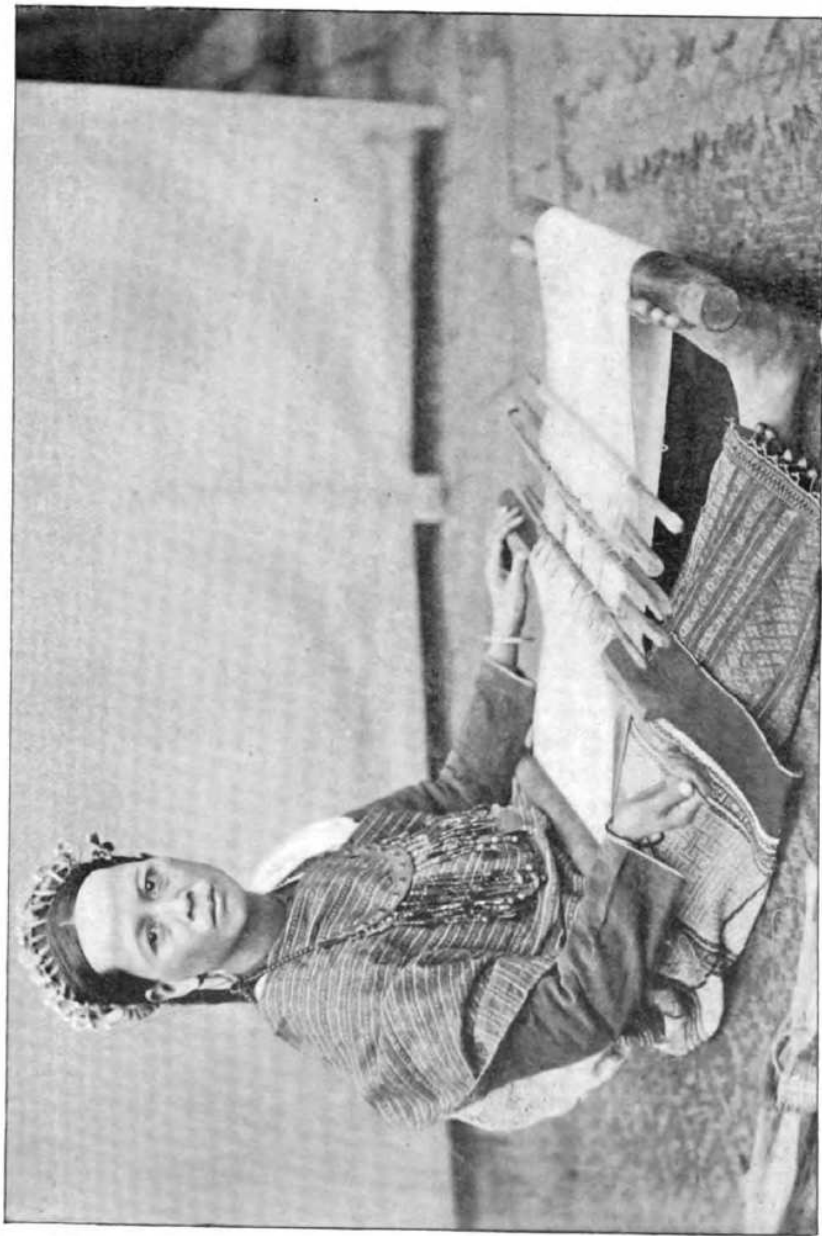
全体としては、土着民の伝道者しか雇われていない。従って、運営費は、本来なら掛かる費用のほんの一部に過ぎない。建物には2人の土着民の寮母、説教者、および彼の妻が住んでいる。実際、教育の多くは完全に自発的なものだった。年上の人、または更に進んだ人は、新人と小さな子供達に教えた。多くの場合、牧師の妻と子供、または母親が、大学在学中に女子校にいと都合が良い。その為、キリスト教の労働者の為の、この家には白髪的女性や小さな子供、娘、娘がいて、皆一緒に読書、執筆、歌唱をしている。オックスフォード大学の教員は、この2つの大学の仕事を容易に遂行出来る。英語は教えられていない。必要に応じて、中国語の教師が、自分の文字の読み書きを教えることが出来る。土着民の女性は、英語で綴られた中国語をローマ字で教えることで、外国人を凌駕することが出来る。漢字を身に着けることを期待するのは無駄だからだ。ローマ字化された口語を学ぶ人は、夫々自分の聖書を読むことが出来る。17歳の時に、1ヶ月で新約聖書の教理問答を読むことを学んだ女の子がいる。中国の女の子や女性は、裁縫や洋裁、刺繍を教える為に、外国人女性を必要としない。彼らは芸術の専門家である。他の宣教分野では、それは非常に異なる。

北台湾では、中国人および平埔族の女子が、長い間淡水の女子校に留まることは、不可能ではないにしても、少女達を確保することは不便である。私達の仕事の現状では、貧しい少女達が両親から離れて、東海岸から旅することを期待するのは、余りにも難しい。存続の為の困難な闘いがあり、大きな女の子はカプツラン平原から免れることは出来ない。いかなる使節団においても、女子の教育の為の合理的、且つ有用な計画を検討するに際し、使節団に雇用された者の女子であって、その使用者の機関を保護することが、その利益となるものは、考慮に入れてはならない。

これらの原則に基づいて運営され、利己的な関心を持つ人々だけに、手を差し伸べる学校は、大きな影響力を持つことはないだろう。私達の目的は、独立した農家、機械工、労働者、商人の娘に、手を差し伸べることである。中国でそれを達成する為には、採用される計画は大きく、柔軟で、中国的でなければならない。これらの基本的事実を認識して、女子校が設立された。聖書の女性は宣教の全ての拠点で、奉仕の為の訓練を受けている。これらの人々は、牧師候補者がキリスト教の国にいる様に、土着民の伝道者から“見守り”をされている。彼らは聡明なキリスト教徒の女性で、様々な教会からやって来て、屢々2人か3人の女の子を連れて来る。家を留守にしている間、娘の世話をする別の女性に、母親が娘を信頼するのは、完全に中国人の様なものだ。時々、聖書の女性は自分の娘、義理の娘、または他の親戚を連れて来る。こうして、女子学校は1回の授業で80人もの生徒を集めた。

女性達は、読み書きと歌、聖書の歴史と地理、聖書の教えを学び、昼間は大学の演説に出席し、夜は朗読やその他の練習にも参加する。彼らは教育方法について訓練され、あらゆる方法で仕事に備える。それから、彼らは彼らの贈り物が、最高の奉仕を生み出す拠点に送られる。この様にして、100の小さな共同体に到達し、宣教の最も遠い部分にある、キリスト教徒と異教の女性と少女は、中心部のより強くて健康的な生活に触れる。

私は他の伝道や宣教師の為に、話しているのではない。私は、台湾での仕事についても、理論付けていない。私は、そこで採用された計画を簡単に説明し、明確で検証可能な結果を述べている。20年以上の経験を経て、私の意見では、北台湾はこの様な大きくて、柔軟で、中国的な計画に依ってのみ、福音化されると思う。



A PE-PO-HOAN WEAVER—THE MATRON OF THE GIRLS' SCHOOL.

大勢の外国人従事者を維持する費用は、非常に高額であり、人々の言語や社会的慣習は、非常に大きな障害となり、気候条件はあまりにも生活を無駄にし、淡水やその周辺を除いては、野原を男性の飢えた大食者とし、神の明白な好意に依って、これらの土着民の聖書の仕事に、参加した聖書の女性は、非常に現実的であり、不変であったので、私は今でも、最も費用が掛からず、最も効果的で、成功する計画の為に、自信を持って立っている。北台湾では、その計画は、土着民の女性の為の土着民労働者である。

第 33 章

医療業務と病院

医療使節の重要性－土着民医師－医師の告訴－疾患の分類－診断－季節の病気－医療関係者－コレラ、カタル、消化不良の治療－悪性マラリア－道教による治療、仏教徒、魔術師、医師－マラリア毒－外国治療－歯学－最初の試み－器具－方法と結果－マッケイ病院－医療活動の任務への影響

医療使節の重要性を強調する必要はもうない。現代の宣教活動の歴史を知っている人なら、誰でも認める。私達が台湾で仕事を始めた時から、主の言葉と模範に耳を傾け、医術に依って直ぐに役立つ、広い扉が開かれた。私の準備訓練の一部は、トロントやニューヨークで追求された医学的研究よりも、実際に有用であった。私は様々な病気に苦しむ人々を見つけ出した、そして痛みを和らげ、病気を癒す力は、宣教に感謝する友人や支援者に勝った。

しかし、台湾には医者がいないと考えてはならない。それらの数は非常に多く、それが科学的でない場合、医学の実践は確かに興味深く、研究に値するものである。認可された医学部の学校、試験、学位はない。慣習は唯一の法則であり、成功は唯一の免状である。自分自身または他人について、実験することに依って、人はある化合物の医学的価値の何かを知ることが出来る。

または、高齢の開業医と交流し、経験から学ぶこともある。または、医学に関する本を勉強し、重要な部分を複写することにより、彼は実践を始めるのに十分な理論を学ぶかも知れない。自分自身が患者であり、多くの治療を試みた人は、他の人に処方するのに、必要な知識を全て持っている。薬局の店員は、医師から送られた処方箋を読んで、記入することにより、自分で処方をはじめることが出来る。他の系列で失敗すると、男は処方箋の在庫を購入し、医者として出発するかも知れない。確かに、人は知識か賢さを持っている必要がある。そうでなければ、彼は人々の信頼と愛顧を失い、そして彼の職業はなくなる。

中国人医師の請求は、欧米の医師や患者には法外とは見做されない。1回の呼び出しで 100 キャッシュ(約 10 セントに相当)が予想される。一般の開業医は国民の評価において、高い地位を占めており、彼の業務はかなりの報酬を得ている。しかし、一般的には、奇術と膏薬や秘薬の販売を組合わせた、旅行中の医師は、自信や尊敬を味わっていない。

土着民の医師は、病気を内的または外的の何れかに分類するが、両方の種類の病気が、同じ人に依って治療されることは希である。内臓の病気は、その秘伝の手術の為に、より神秘的である為、治療に専念する人は、外傷や創傷を専門とする人よりも、大きな名誉に値すると見做される。

診断は脈を感じることで下される。医師は患者の前に座り、患者の手はテーブルの上の布の上に置かれる。患者が男性の場合、医師は自分の右手を使って先ず患者の左手の脈を感じ、次に右手の脈を触診する。女性の場合、医師は自分の左手を使って、先ず患者の右手を、次に患者の左手を触診する。彼は親指を手首の骨の目立つ部分に置き、最初の 3 本の指を脈に当てた。

脈の異なる状態は、5つの異なる単語によって記述される。最初は、それが高く一杯であることを意味する。第二に、それは低いか、深くて遅いである。第三に、それはより深く、より低いことである。第四に、それはまるで、空のように感じる。そして、第五に、全ての動きがなくなり、何も感じられないということである。

心臓と肝臓は、これらの異なる脈の状態を生み出すと考えられている。心臓には7つの開口部があり、そこから風や悪の原理が入り、脈の変化を引き起こすと考えられている。病気は季節によって違う。春のものは肝臓、夏のは心臓、秋のものは肺、そして冬のは腎臓に依って、引き起こされると考えられている。

医師は必ず処方箋を書き、薬局に持って行って薬を調合する。薬剤師は、様々な成分をかなり注意して計量し、それらを紙に包み、処方箋を薬と共に封入し、梱包の外側に、成形品の名前を表示する。しかし、大衆は無知のままであり、非常に身近な物質には、一般の人々の言語では、全く知られていない名前が付けられている。鉱物、岩石、貝殻を粉末にして、焙煎することが多い。野菜、根、花、樹皮、種子は煎じ薬として使用される。

手術の問題では、土着民は外国の開業医の優越性を認めているが、内科疾患に対処するに当たっては、彼ら自身の医師が卓越していると主張されている。彼らの無知が露呈され、彼らの迷信的な概念が打倒されるのは、ゆっくりとなのである。彼らの治療法の多くを考える時、その様な処方を有益にする、患者の単純さに驚嘆する。

アジアコレラに対しては、多くの人が反対刺激や、外部の応用を信頼している。体の幾つかの部分の皮膚に針が刺され、赤くなるまで、人差し指と中指の指の関節の間を強く押したり、または摘まむ。

時々髪と生姜は、椿油と混ぜられて、体の上で擦られる。鼻かぜに特化したものは、沸騰したお湯に注がれた3つの成分、つまり墓に入れられた後の、棺から切り取られた木片、麻の喪服の一部、および墓から取り出された、一握りの土から作られている。棺桶を下げた後、棺桶の横から採取した。歯の周囲に溜まった歯石は、私の証言では簡単に手に入れることが出来、犬の咬傷に対する貴重な、解毒剤と考えられている。消化不良のやせた顔や不快な鼓腸は、犬の肉を食べて治すことが出来、子犬が好まれ、狂った犬は軽蔑されない。胃炎の一般的な治療法は、ぬるま湯や蒸留酒に浸した後、首の皮膚を指で擦ることである。乳児の皮膚が黒色または暗い色の場合、壊れたフライパンの小片は、子供が泣き始めるまで、金切り声と共に鳴り響く。人が風や雨に曝されて、皮膚に痛みを伴う、ひびが入った場合、問題の本当の原因は、人が中指で月を指さして、月を怒らせたことにあると考えられている。治癒するには、彼は夜の気分を害した愛人に直面し、礼拝の様に手を合わせ、礼儀正しくお辞儀をし、謙虚に罪を告白し、許しを求めなければならない。

中国人は単純な心を持ち、地球に住む他のどの国よりも、騙され易いと言われたことから推測してはいけない。しかし、これほど抜け目のない人々が、この様な無知な、いかさまに騙されたり、目が眩んだりすることは、理解出来ない様だ。それにしても、それはとても奇妙なことなのであろうか。前世紀のヨーロッパで、最も啓蒙的な国はどうであらうか。今日の欧米の人々や、国々はどうか？騙されることを厭わない人を見付ける為に、遠くへ行く必要はないのである。

最も悪性の病気は、最も一般的で人々に最も恐れられている病気であり、示唆されている様に、マラリア熱^{*}である。彼らは、病気が不運にも、通りや道端に置かれた模造のお金を僧侶や魔術師が、踏んだことに依って引き起こされると考えている。または、自然界の高温と、低温の原理の対立によるもの。または2つの悪魔に依って、1つは本質的に負の原理に属し、患者を扇動させて悪寒を引き起こし、もう1つは正の原理に属し、炉を吹き、熱と熱を発生させる。しかし、これらの悪魔の名前を言うと、彼らの不快感を招くことになるので、人々は"悪寒発熱"と言う名前を使わず、"悪魔の熱"、"乞食の熱"、または、その他の無害な名前と呼ぶ。

マラリアの治療は助言者毎による。道教のお坊さんは、病気の人の服のボタンや、合図に巻いた桃の葉、青竹、黄紙でお守りを作る。赤い糸を手関節周囲で縛って、何週間もその場に置いておくこともある。または、道教の創設者である、老子の印章が背中に押されている。しかし、何よりも効果的なのは、僧侶が鐘を鳴らしたり、一種の警笛を吹いたりして、悪魔を目覚めさせた後、鞭で追い払うことだろう。

仏教の僧侶は、焼かれたお香の灰から作られた、お茶を処方するか、ふっくらしたケーキに"ヒ素"の様な言葉を書いて、それを沸騰したお湯に入れ、冷めると、患者にそれを与える。他の救済策に失敗した場合、彼は苦しんでいる人を、最寄りの寺院に送る。計画する悪魔の攻撃から逃れる為に、彼は暫くの間、偶像の机の下に留まらなければならない。

魔法使いは、長さ約3フィートの竹の棒を3本取り、夫々の端に赤い布を結び、熱病の悪霊達を取り除く。或いは、稲藁から人間の様な姿を作り、そこに邪悪な霊達を招き入れ、藁人形を家から少し離れた所に運んで、霊達に金、豚、アヒルの卵、米、野菜類を供えた。

※マラリア原虫を運ぶ蚊が主因であり、日本は蚊を抑制する為に、排水の良い都市計画を進めた。

魔術師が使用する、他のどの治療法よりも効果的な治療法は、熱病患者の覇気のない手の周りから、引き抜かれた7本の髪を結ぶことである。

土着民の医師は、自然の中での2つの原則の間の、不一致について賢明に話すだろうが、それは彼の薬だけが克服することだろうか。彼の治療薬の主な成分は、プランテンの種、オレンジピール、甘草の根、シャクヤクの根、インドカリン属・フラバス、シダ、パナクス(人參)、レビスカス、ミシマサイコ属、タツナミソウ属、クレマチス・リバイオティス、カリンである。

土着民の医師の処方箋は、聖職者や魔術師の処方箋と同様に信頼出来ない。確かに、私は医師が患者の処方箋を書き、料金を徴収することを知っていたが、しかし、彼ら自身の使用の為に、キニーネの5粒から20粒を紙に慎重に折り畳んだ。

この恐ろしい病気に、外国人は日焼け、間欠熱、悪寒発熱、発熱、マラリア熱、ダムマラリア熱、ジャングル熱、アフリカ熱等の名前を付け、淡水熱と呼ばれていると聞いたことがある。その真の原因は、疑いもなく、有機物の分解によって生成されるマラリア原虫の毒であり、その強さは患者の体質、気候、環境に依存する。シルビア山の近くの山で、数週間野蛮人達と過ごしたが、概して健康だった。平埔族の農民は、その近所に引っ越し、小屋を建て始め、土地を耕作し始めた。1週間もしない内に、居留地全体が最も緊張した形で熱病に倒れ込み、貧しい野蛮人達の苦しみは悲しみに暮れた。土壌中の分解物が上向きになって、毒が発生するもう1つの例は、淡水女子学校の建設に関連して発生した。そこでは、基礎の為に数フィート掘り下げた後、建物が完成するまで、労働者は多かれ少なかれ苦んだ。特異なのは、片方の手足、片手、または片側が影響を受けて、全ての段階を経る可能性があり、体の他の部分は以前のままであるということである。

幾つかの治療法が用いられている。最初の発作は、良い体質であれば、良い汗を出すものであれば、何でも克服出来るかも知れない。しかし、この系が毒で飽和している時には、長期に渡り持続的な治療が必要である。レモンをスライスして、果汁が全て抽出されるまで煮たものは、清涼感のある飲み物であるだけでなく、大量に使用すれば間違いなく、熱病に効く薬になる。最初はポドフィルムとタンポポ属をピルの形で使用し、次にキニーネを頻繁に投与し、必要ならば過塩素酸鉄を投与した。流動食、運動、新鮮な空気が常に求められる。私の願いは、マラリアの場合に、種痘が天然痘の場合に行われると同様な、何らかの発見がなされることであり、熱帯の土地での、この猛毒の生活を抑制したり、根絶したりすることに依って、土着民にとっても外国人にとっても、残酷ではなくなることである。

マラリア熱で衰弱した町の住民の半数が、一度に見付かることは、台湾では珍しくない。私は 20、30 人の家庭で、仕事が出来ないのを見たことがある。この様な状況の中で、土着民の伝道者達は、患者の中に住み、彼らの人生を知ることによって、彼らが訓練された外国の医学を用いて、苦しんでいる人類に、計り知れない奉仕をし、” 様々な病気に病んでいた、多くの人々を癒した” 彼らの主の福音を称賛することが出来る。

歯の治療は、発熱の治療と共に、台湾での医学の宣教活動の最も重要な部門として言及されるべきである。歯の痛みは、苛烈なマラリアとピンロウジュを噛む、葉巻の吸引、その他の不潔な習慣から来るもので、中国人と土着民の何千人もの内 10 人の永遠の苦しみである。歯の成長、欠陥、治療に関して人々が、大切にしている迷信は無数にある。そして、彼らが中をかじって歯痛を引き起こしていると、信じられている黒頭の虫を追い払おうとする方法は、それらの幾つかは面白い、幾つかは不快であり、幾つかは、確かに独創的である。



A DENTAL OPERATION—DR. MAC KAY, A HOA AND KOA KAU.

土着民が歯を抜く方法は、粗雑で残酷だ。時には、問題のある歯が強い紐で引っ張られたり、はさみの刃で突き出されたりする。巡回医はペンチや小さなトングを使う。野蛮な治療が原因で顎が破れたり、出血が増えたり、失神したり、死に至ることも多いので、皆が手術を恐れることは、驚くべきことではない。

私の最初の抜歯の試みは 1873 年であった。ある日、生徒と一緒に竹塹 (Tek-chham) を離れると、私達の動きを監視する為に送られた、12 人の兵士が続いた。彼らの内の一人は、虫歯の為に激しい痛みで苦しんでいた。彼は言った、「その中に虫がいる。」私は鉗子を持っていなかったが、検査の後、硬い木の欠けらを手に入れ、望み通りに形を整え、それで歯を取り除いた。確かにそれは原始的な歯学であったが、歯は抜けていて、貧しい兵士は喜びに泣いて、感謝の気持ちを最も盛んに表した。数年後、多くの兵士が"野蛮人宣教師"を罵倒していた時、背の高い将校が歩み、彼らを叱責し、私は彼の痛む歯を抜歯した教師であると言った。

私の最初の歯科用器具は、私の指示に従って、土着の鍛冶屋によって鍛造されたので、非常に粗末であった。今、私はニューヨークで作られた最高の器具を持っている。ランスは滅多に使用されず、キー、フック、パンチ、ねじは決して使用されない。椅子は必要ではなく、100 人の患者が順番を待っているの、手の込んだ準備は時間の無駄である。中国人はかなりの胆力があり、手術の痛みに見事に耐える。

私達が田舎を巡業する時の習慣は、屢々寺院の石段にある開けた場所に立ち、賛美歌を 2 曲を歌った後、歯を抜いて福音の御言葉を伝えることである。

患者は通常、手術が行われている間は立ち、抜歯された歯は患者の手に置かれる。この歯を維持することは、中国人の心の中で、我々に対する疑念を目を覚まさせることになるだろう。学生の何人かは鉗子を持った専門家であり、1時間以内に100本の歯を頻繁に抜歯した。私は1873年以来21,000人以上を抜歯した、そして生徒と牧師は、その半分近くを抽出した。人々は今では、歯痛と言う耐えがたい痛みに苦しむ必要はなく、安心を得る為に、危険を冒す必要もないことを知っている。使節団の聖職者やその他の敵は、熱やその他の病気は、我々の薬ではなく、神々の介入に依って治癒したと、人々を説得するかも知れないが、歯痛の緩和は余りにも明白であり、この歯の為に一他の何よりも一偏見や反対を打破するのに効果的であった。

患者は、私達が偶々いるかも知れない、全ての都市や村で治療を受ける。薬が投与され、自宅で治療が行われる。しかし、この部門の本部は、他の部門と同様に淡水にある。病棟や必要な設備を備えた病院棟がある。最初は部屋が一つしかなかったが、1880年にデトロイトのミセス・マッケイからの贈り物である3,000ドルを受けて、夫のキャプテン・マッケイを記念して、病院用の日用品の建物が建てられ、現在は"マッケイ病院"として知られている。これは何千人もの人々にとって、大きな祝福であった。カナダで休暇中の1894年の報告を参照すると、1年間に3,156人の新規患者と7,580人の高齢患者が治療を受けたことが分かる。

現在では、治療を受けた全ての人が治癒したとか、治癒した全ての人がキリスト教徒になったとは言われていない。この 23 年間に多くの人が治癒し、多くの人が解放され、提供された奉仕に依って、彼らは、より親切に任務を遂行することが出来た。多くの人が改宗者となり、その例が親族や友人に語り掛けた。これら全ての医学的作業の行動様式の影響は、推定出来ない。患者の転換をもたらす、直接的な結果を知ることは出来ない。興味深い事例が沢山ある。56 歳の文賢(Bun Hien)は殆んど盲目で、以前は悪い性格の首謀者であったが、彼の失明を癒し、神に改心し、子供や孫を連れて来た。アヘンで自殺した若い女性が治療を受け、回復した。その結果、62 歳の義父が礼拝所に来て福音を信じ、生涯に渡って生活した。周(Chiu)という名の人は酷く火傷を負い、生まれ故郷の伝道者は、傷を癒すことが出来た。そして周(Chiu)は 7 人の子供を連れて礼拝所に来た。そして、彼らは皆キリスト教徒になった。しかし、除福(Chhi Hok)、銅鑼奏者の林奥(Lim O)、水牛に刺されて息子が治った許萬(Kho Ban)、熱病患者の徐某(Chhi)、犬に噛まれた龜某(Ku)、アヘンを吸う王某(Ong)、“猛烈な狂気”の被害者である、儒教の先生については、宇宙は何も語らず、身体的な病気が治ったことで、何百人もの人々が、霊の大きな苦しみを癒す、救世主の知識に導かれた。彼らの多くは真理の反対者であり、最後の手段として、外国人に相談する為に連れて来られたが、敵から友達になった。彼らの或る者は主の御許にあり、また或る者は地上の教会で常に奉仕している。

第 34 章 外国人と使命

敵意の報告—台湾の同情的な関係—外国人との経験—土着民の説教者への外国人の親切—
滅多に耳にしない“野蛮人”—外国人共同体からの演説と発表

外国人は、その国に住んでいる商人であろうと、その国を通過する旅行者であろうと、キリスト教の伝道に対して、無関心であるか敵対的であるかの、どちらかであると言うのが、宣教師側の共通の不満である。宣教師と彼らの仕事に対する、外国人共同体の傲慢な侮辱、時には隠された侮辱についての一つの認識。中国や日本の都市や港町で、宣教師と他の外国人との間に、深い亀裂があるのを聞いた。私達は、商人や役人や旅行者から、宣教師達は弱く、狭量で、全く影響を受けず、彼らの仕事は失敗か、詐欺だと言われている。宣教師は吐露した、外国の商人は世俗的であり、軍隊と海軍士官と男達は品行が悪い、領事は共感を示さず、精神的ではなく、平均的な旅行者は片目であり、偏見があり、世界を放浪する旅行者であり、彼らは使節活動の側では、明らかな災いであると。

外国人と宣教活動の関係について聞いたことは、実はかなり根拠のあるものだと思っており、申し訳ないが、他の宣教分野にある様なことを語るのは、私にとっては本意ではない。言及されている様な亀裂が、存在する可能性があり、そうである場合、それは恐らく、双方の当事者に依って掘り起こされたものであろう。

しかし、台湾と言え、そして、そこでの我々の任務の全歴史を振り返ってみると、私は、任務に携わる労働者と、居住者または一時的な外国人社会との間には、これまでも、最も友好的な関係があったと、言わざるを得ない。前章では何度も何度も、ヨーロッパやアメリカの商人、領事、税関長、医師が提供する、慈愛や奉仕について触れて来た。Tait&Co.、Boyd&Co.、Douglas、La Praik&Co.等、中国人を雇用している、外国の大企業の代表者達は、常に私達の仕事に真の関心を持っている。Frater, Allen, Hosie, Ayrton, Morse, Hall, Bourne, Hobson の様な税関の領事や、検査官は私の個人的な友人であり、感謝の意を込めて、彼らの名前を思い出す。野蛮な領域への複数回の旅行は、それらの会社の一つや、他の紳士達に依って安堵を得た。

ホブソンは税関長の時に、一度私と一緒に行ったが、二人共に山での経験を忘れないだろう。寒さに震えながら、私達は一日の大部分を湿った薪の煙で満たされた小屋で過ごし、夜になると、可哀想なホブソンは、その場所の残忍な雰囲気と、私が身を包んでいた、鹿の革の様な乾いた音とに依って、部分的には目を覚ましていた。鹿の革の音は、私の体を動かす度に、ピストルの発砲音の様に狂った。ある暑い夜、ホブソンとリンジャー博士が淡水から八里坌(Pat-li-hun)まで歩き、12ヶ月前には見たことのない様な、夕食を食べたことも覚えている。

医療関係者は、常に私達の仕事を支援したいと言う願望を表明し、多くの方法で、価値ある奉仕を提供して来た。リンジャー博士は重病の時だけでなく、淡水の港での彼の滞在中に、私達の病院を彼の管理下に置いて、宣教任務に無料の奉仕を提供して呉れた。

淡水には様々な国の科学者が訪れ、私の博物館では1時間か2時間、彼らの共感と関心を確実にして呉れた。彼らはそこで何年も掛けて、自分達で何を発見するかを見だし、礼拝所の巡回に私達と同行して、外国の使節団の友達になることも少なくなかった。

1873年のある安息日、五股坑(Go-ko-khi)で、背の高い見知らぬ人が突然現れ、星条旗を連想させるアクセントで、私に挨拶をしたことに驚いた。彼はアメリカ人の科学者で、現在はミシガン大学アナーバーの教授である J.B ステア (J.B.Steere)で、大学の博物館の為に標本を集めて、熱帯地方を旅していた。彼は淡水で私達の客となり、1ヶ月間、私達は楽しい交際をした。彼は私の生徒達に大きな関心を示した。そして、私の不在の間、彼が数日間を完全に占有した時、彼は生徒達に2つの曲を教えることを約束した。彼はその言語を知らなかったが、ローマ字表記の賛美歌の本を使うことが出来た。彼は黒板に楽譜を置き、生徒達にそれを歌わせた。私が戻ってきた時、私は100番目と121番目の詩篇で迎えられ、未だお気に入りの曲に合わせて歌われ、当時のクラスの人達から今日まで“植物学者の曲”と呼ばれている。

次に船のことを話しましょう、船長や役人や技術者は様々な方法で、私達の仕事を支援して呉れた。上流層も下流層も同情を表明しており、外国人居住者は、土着民の伝道者や、改宗者に親切を示す為に、わざわざ出かけて行った。オコナー英大使とサーモン英海軍大將は、オックスフォード大学を訪問し、戦争中の英国人の司令官も訪問した。そして、私自身が通訳をしながら、学生達に挨拶し、最も親切な挨拶と善意の言葉で話した。私は全ての国籍の外国人が、キリスト教への、彼らの恩恵を認める準備が出来ており、使節団や宣教師を支援する用意があることを知った。

彼ら自身が宣教師ではなかったと言う事実は、ヨーロッパやアメリカだけでなく異教徒の共同体においても、彼らの言葉に独特の強調を与えた。その代わりに、学生や改宗者は、全ての外国人に、尊重と敬意を持って接する様に教えられて来た。そして、20年前に屢々外国人に投げられた軽蔑的な“野蛮人”という言葉は、今日の北台湾では殆んど聞かれない。

宣教と外国人共同体との間に、存在する関係が共感的であり、心の籠ったことは、演説に依って証言されている、そして素晴らしい望遠鏡を伴って、1893年のカナダへの出発前夜に、私に贈呈された。私はこの講演を大切にしているが、それは私が人生を捧げて来た仕事に対する、外国人全体の関心を紛れもない言葉で表しているからである。

” G・L 牧師、MacKay, D.D. に、彼が台湾を去る前日に。

“淡水 1893 年 8 月 17 日”。

「マッケイ博士:ここに集まった私達は、あなたに神の速さと、快適な航海を願い、あなたに敬意を表すると共に、あなたが過去 20 年間に渡り、見事に成し遂げて来た、偉大な業績に対する評価を表明することなく、あなたを出発させることは、出来ないと感じた。

「私達はいつも自分達の考えを表現している訳ではありませんが、あなたの偉大な成功と、神の助けに依って、私達の周りの中国人の心を掴むことが出来た、素晴らしい進歩を高く評価しています。この成功は、中国におけるキリスト教の伝道の歴史の中では、並大抵のものではないと思います。

「あなたが、これまで何年にも渡って献身して来た、偉大で高貴な仕事に感謝と満足を持って尊敬せざるを得ない。

「物質的な恵みだけでは、あなたの労働の結果として、全ての人が誇りを持って、幸せになるのに十分な理由があります。そして、もし、あなたの教えに依って、土着民と外国人との間の、良い感情以外に示すものがなければ、それだけで勝利の十分な理由になります。私達の中で、あなたが到着した時の様に、台湾を覚えている者は、一般の土着民の行動が、益々良くなる為に、大きな変化を遂げたことを認めています。私達は、このことをあなたに、大いに感謝しています。疑いは信頼に代わるものであり、最も臆病な人達は悪戯を恐れることを、決して夢にも思わないので、彼らにその国を放浪させた。この国のあちこちに散らばっている、清楚で健康的な使節礼拝所を、誰が忘れても良いのだろうか。また、新店(Sin-tiam)の様な場所での、明るく陽気な歓迎を忘れても良い人はいないだろうか。美しい台湾の景色の中で、快樂を楽しむ時、親切な歓迎と笑顔の歓迎、自分の欲求を予期して喜ぶ心、キリスト教伝道所での、私達の滞在を快適にしたいと言う強い願望、振り返るべき明るい思い出を私達に与えたいと思う時など。これらは全て、あなたの教えと影響の結果です。

「あなたの仕事に対して、私達が感じている称賛と敬意、そして、あなたが発展させる為に、多くのことをして呉れた中国人と、外国人の間の良い感情から得られた、恩恵に対する感謝の他に、私達は共同体として、偕牧師(Kai Bok-su)と特別な関係を持っていると感じています。あなたは、目に見えないものを信じる信仰の象徴であり、模範であった。わたし達の間から、また目に見える世界から、人が出た時は尚更である。あなたは私達に同情して助け、私達に大きな現実を思い起こさせ、私達から去った人達の為に、私達の最後の執務室で出来る限り、あなた自身の様に私達と分かち合う用意がありました。もし、私達が結婚したり、その他の喜びを感じる機会があれば、あなたも同じ様に私達に同情し、助けてくれると思います。

依って、個人として、また地域社会として、感謝と謝意の気持ちを伝えたいと思います」。マッケイ博士にお願いしたいのは、北台湾の外国人社会と、訪問する蒸気船の船長、士官、技師達から、我々の尊敬の印を受け入れることだけです。もし、私達のささげ物が、あなたの目の前に、『天が夜毎に宣言する栄光』を近づけ、あなたに喜びと安らぎを与えるのに役立つなら、私達は皆喜びます。

| | |
|-------------------|------------------|
| "L. te Breton, | James Cromarty, |
| B. P. White, | Isaac Roberts, |
| Charles Pye, | J. D. Edwards, |
| Alfred G. Robson, | V. Larsen, |
| J. R. Wilson, | J. Remusat, |
| R. Mussen, | H. B. Morse, |
| Arnold C. Clarke, | W. S. Ayrton, |
| Harrison W. Lee, | O. E. Bailey, |
| G. Ball, | G. M. Hinrichs, |
| F. W. E. Dulberg, | G. Schneider, |
| William Gaud, | G. Nepean, |
| William Davis, | W. Cloney, |
| Fred B. Marshall, | A. F. Gardiner, |
| F. M. Tait, | A. Butler, |
| R. H. Obiy, | P. W. Petersen, |
| M. Jenssen, | A. Schwarzer, |
| B. C. Matheson, | J. S. Roach, |
| F. Fenwick, | William Roberts, |
| E. A. Donaldson, | F. F. Andrew, |
| Paul Schabert, | E. Hansen, |
| J. Merlees, | F. Ashton, |
| F. C. Angear." | |

第 35 章

イギリスの長老教会と共に

北と南－相互の尊重－彼らの使命の創設－労働者の職員－キャンベル氏の訪問－リッチー
氏との巡回－拠点と統計－医療活動－教育－高貴な歴史

台湾の長さは 250 マイル以下であるが、南に住む人々は大陸の長さが我々の間にあるかの様に、北で我々から隔てられている。海上での直接の接続はなく、陸路は退屈で困難で危険である。イギリス長老教会が行っている、南台湾での伝道は、北に向かって北台湾での伝道が提供している、最も南の駅から遠くない所まで達しているが、実際には遠く離れているので、実際には様々な地域にいる。年に一度、淡水と台湾府の宣教師が出会うが、それは

"夜中に往来し、往来の際に互いに話す船"

2つの使命が、もっと友好的になれる可能性はないだろうし、私達は遠く離れた場所以外では、お互いに接触したことはなく、仕事のやり方は大きく異なるが、"1つは希望と教義、もう1つは慈善です"である。彼らは外国人職員が多く、私達は現地の聖職に重点を置いている。しかし、神は彼の召使達が働く為の決まった方法を持っておらず、夫々の能力と状況に応じて、共通の主人に仕えなければならない。

南台湾の宣教師達は、実に兄弟として愛されている。見知らぬ人や初心者の方が、彼らの真ん中に上陸した時、現場にいた人達は私を心から歓迎して呉れて、私を仕事に引き入れ、自分の選んだ現地を探検に連れて行って呉れた。彼らの業績の物語は、彼らの中の一人である、ウィリアム・キャンベル牧師 F・R・G・S に依って、彼の「台湾における宣教の成功」の中で語られている。私はイギリス長老教会会議に、提出された最新の報告書を 2 冊しか持っていないが、そこからの抜粋と統計を頼りにしている。

南台湾での研究は、1865 年に熱心なキリスト教の医師、J.L.マクスウェル医師に依って始められた。1870 年に彼の奉仕を書いた時、彼がその下で働いていた、外国宣教委員会の招集者は、次の様に述べている。「それは幾つかの点で、その事件では殆んどロマンティックであり、そして、人間の代理人の小ささと比較して、仕事の大きな結果で、神に非常に栄光を帰します、それは主に、1865 年に私達の為に出て行った、高貴なキリスト教徒の医師である 1 人の宣教師、マクスウェル博士を通じて行われた為です。」使節の創設者は確かに、高貴なキリスト教徒であり、現場からの引退以来、イギリスのロンドンで出版された「医療使節」の編集者として、外国の使節の奉仕を続けて来た。

私が 1871 年に到着した時、ヒュー・リッチーウィリアム・キャンベルディクソン博士が現場にいた。1894 年の報告書によると、現在の職員は、ウィリアム・キャンベル牧師(1871 年)、パークレー牧師、M.A.(1874 年)、ダンカン・ファーガソン牧師、M.A.(1889 年)、ピーター・アンダーソン、L.R.C.S.及び P.Ed.(1878 年)、W.マレー・ケアンズ、M.B.、CM(1893 年)、ジョージ・エード氏(1883 年)、アニー・バトラー嬢(1885 年)、ジョーン・スチュアート嬢(1885 年)、バネット嬢(1888 年)である。報告書には、「ウィリアム・トリオ牧師の予期せぬ死去による、除籍が記録されており、これは全ての兄弟達と、全土着民教会の心に深い傷を残しました。

タウ氏(Mr.Thow)は高貴な宣教師であり、中国のキリスト教徒との間では、特筆すべき接触があった。」現場で知り合った、タウ氏と知り合うことが出来たのは、私の特権であり、彼は同僚や教会から語られた、感謝の言葉に従った。リッチー氏とガビン・ラッセル博士も、台湾での労働を休む様に、求められている。

淡水で最初に私を訪れた宣教師は、ウィリアム・キャンベル牧師で、町や村で福音を宣教しながら、私と共に内陸を旅した。それから数年後、彼は2度目に私を訪ね、カブツラン平野を旅した。彼は楽しい仲間だった。基隆でのある夜、私達は次の朝から、英語を話さずに10日間過ごすことに同意した。私達は、午前中に旅に出発することになっていたが、夜明け前に「Liong tsong khi lai」という呼び掛けが聞こえた。私達は直ぐに、曲がりくねった道を進み、いつも話していたが、英語を使うことはなかった。とうとう、友人は私の方を向いて言った。「マッケイ、この中国語のお喋りは馬鹿げている。スコッチの2人の男は、もっと分別があって、然るべきだ。母国語に戻ろう。」

1875年にヒュー・リッチー牧師が淡水に来て、9人の牧師と一緒に70日間の旅に出た。私達は北での仕事を全て調査し、全ての拠点を訪れ、南の方へ、山を越え、砂を越え、密集した森林や岩だらけの峡谷を通して、南台湾使節として、最も北にある拠点に辿り着いた。私達は拠点から拠点へ行き、彼らの仕事全体を点検した。その後、私達は台湾の宣教師と、事務局長の会議で、宣教師と現地の労働者と会い、数日間一緒に親切な助言を受けた。私と北部の説教者は、南部の同胞と共に議論に参加する資格を与えられた。

それ以来、私は何度も南台湾を訪れたが、宣教師達が献身的に働き、改宗者達が熱心で誠実であることを知らしめた、使節団への愛情を失ったことはなかった。

1894 年末の時点で、南台湾の使節団は 20 の組織された会衆を報告したが、その内 18 は未だ組織されておらず、1,246 人が聖体拝領に参加していた。この仕事は、最も有能で経験豊富な、宣教師達の病気に依って大いに妨げられた。マラリア熱は彼らの敵であり、我々の様に北にある。その拠点、中国人、平埔族と熟番族である。台湾地区には、中国人の拠点が 1ヶ所、平埔族の拠点が 4ヶ所ある。Tong-soa 地区では、中国人が 11 人、客家族が 1 人である。嘉義地区には中国人 5 人、平埔族が 4 人がいる。Chiang-hoa 地区には、一つの中国人の拠点、熟番族に 5つの拠点がある。東海岸には、平埔族の拠点が 3つある。26 人の土着民の伝道者がいて、その内、誰も未だ聖職に任命されていない。8 人の学生が、牧師を目指して勉強している。幾つかの教会から励ましになるニュースが伝えられ、報告は「2 月に開催される伝道師と牧師の総会では、土着民の兄弟達が教会の運営に、大きな責任を負うことになる決定が、幾つかある様に思えた。彼らが 1 人か 2 人の現地の牧師として、聖職授任に進むことが可能な時期については、同胞は日があまり遠くないと言う意見です。そして、それは本当に台湾任務の記念日であるでしょう。」

ウィリアムキャンベル牧師は、彼らの使命における、医療活動の影響について、次の様に書いている。「私達の病院での仕事は、外来患者と、毎週火曜日と金曜日に、薬を処方されている患者の 2つの集団に届きます。

こうして、毎年、何千人もの人々に影響を及ぼそうとする為に、広い扉と効果的な扉が開かれている。しかも、1つの町や村からではなく、何百平方マイルもの地域からやって来る人々に、影響を及ぼそうとするのだ。」目の不自由な人の為の非常に興味深い研究が、キャンベル氏に依って始められ、そのノルマを福音宣教の成功に貢献し、あらゆる祝福を持って行われている。

宣教師の中には、少なくとも、土着民の伝道者や教師に対して、より多くの責任を負わせることの重要性を確信している者もいる。そして、徹底した教育に依って、土着民の才能を育成することの重要性を確信している。キャンベル氏は、次の様に書いている。私達の大学の仕事が、私達が望む様に発展していないことや、私達の分野の必要性が、今、緊急に求められていることは、私達にとって非常に残念なことです。ほんの少しの努力で、約 20 人の学生が現在の大学の建物に収容出来ました。そして、通常の損失の割合を考慮に入れると、健康で必要な進歩等を行う場合、この数は常に機能しているはずで、1892 年に掛けて、私達は私達の名簿に、僅か 8 人の正規学生の名前を持っていました。1 人は土着民の漳州(Chin-chew)、2 人は客家族、5 人は両親が平埔族の子供です。数年前から多くの中国の若者が、大学の教育を受けられない様にして来た原因について、全面的かつ好意的な調査が、必要であることは明らかである。キリスト教の教師がいないことを主な理由に、私達の会衆の学校は、実際には少なく、家にいる友人達には、適切な宿泊施設がない為に、1890 年の秋にはエド氏の中学校を止めなければならなかったことが良く知られている。この後者の機関の数年間の活動は、我々の使命の現在の段階での、その非常に重要で価値のあるものを全て確信させた。大学、地元の学校、病院、その他のキリスト教活動の殆んど全ての部門を管理する為の、若い男性を備える為に、それが何年も長く続くべきだったと言うことだけが必要でした。」

南部の使命は、試練の下に設立されたが、素晴らしい仕事をし、高貴な歴史を持っている。その奉仕の目録には、価値のある名前がある。それは、暗黒の地における光明であり、神と真理の証人であり、無数の吉報の伝道者であった。採用された方法は、私達の方法とは異なるが、その精神はイエスの福音の精神であり、私はそこにいる兄弟達と共に、達成された全ての成功を喜び、また、南台湾に、神の都市を築き上げる為の“前進運動”を最高の喜びと共に、歓迎する。

第 36 章

回顧と展望

調査－外国人医療助手－J. B. フレーザー牧師－K. F. ジュナ牧師－ジョン・ジェイミソン牧師－Wm. ゴールド牧師－1894 年の統計－ゴールド氏の報告－礼拝所－土着民の説教者－自立－関係の変化－“エベン・エゼル”

現在の卓越性に立ち、1 つは、過去を振り返り、将来を前向きに考える傾向がある。24 年前の 1871 年の秋、私は最初に自分の出身の国を去った、若くて未熟だった。これは私の教会から派遣された、最初の外国人宣教師である。私は、どこへ行くのか分からなかった、私の労働の場が、選定されなかったからである。しかし、“私達の目的を形造る”神が先導し、1872 年の初め、淡水の周りに聳える緑に覆われた山々に、私の目を向け様とした時、私の耳には、人間の声が、これまでにない程はっきりと聞こえて来た。そして、神の声が、私の聞いている精神に、ささやく様に聞こえて来た。「これがこの国です。」1881 年の秋、私の最初の休暇の終わりに、私は 2 度目の出発をした。それは、私の妻の故郷である、私の労苦の地である台湾が、私の心に刻まれていたからであった。そして 3 度目の 1895 年の秋、2 度目の休暇の終わりに、今度は妻と 3 人の子供達、そして中国人の学生仲間である柯玖(Koa Kau)と一緒に再び出発する。別れは全て語られ、道を分別して、迷うことのない方の導きを信じて、私達は喜んで出掛ける。私達の救い主であり、王であるイエスの為に、果たされるべき業と証言が、台湾にあることを。

北台湾での布教経験については、未だ知られていないことが多い。長年を振り返ると、私は次々と支援者が、私達の生活に入り、私達の仕事に参加しているのを見ている。既に述べた様に、外国人居住区の駐在医であるリンガー博士は、最初から1880年まで、病院や医療業務に関連して、その様な貴重な奉仕を提供し、彼自身がその部門の責任を負っていた。ヨハンセン博士は彼に従って、1886年までの6年間、苦難と騒乱の時代があったが、彼はその任務を義務付けた。それからレニー博士が来て、1886年から1892年まで、病院と医療の最高責任者だった。それ以来、F.C. アンギヤ博士は、この重要な部署を担当し、監督して来た。前任者と同様に、彼の時間を惜しみなく費やし、使命に最も効率的な奉仕を提供して来た。

1875年、私達はJ. B. フレーザー牧師 (M.D.) と妻と合流した。故W・フレーザー牧師の息子である、フレーザー博士は、長年に渡りカナダの長老教会総会の書記の一人であり、2年間医療に従事した経験があり、神学を卒業した後、1874年9月にトロントの長老会に依って叙階され、指名され、外国使節団委員会に依って、特に医療業務を担当する様に派遣された。3年近くの忠実な奉仕の後、1877年10月に妻が亡くなった為に、彼の家庭は壊れ、彼は子供達と一緒に、カナダに帰らざるを得なくなった。現在はオンタリオ州リースで公使を務めており、外交使節委員会の活発で有用なメンバーである。

その翌年の1878年の夏、ケネス・F・ジュノー牧師は、カナダ教会の委託を受けて淡水に到着し、1882年まで、その奉仕を続けた。

私が 1880～81 で最初に休暇を取得した時、彼はこの現場で唯一の外国人宣教師であり、土着民の伝道者と共に、その当時 20 つの礼拝堂があり、夫々が土着民の伝道者であり、300 人以上の信者が、教会と完全に交流していた、全伝道を監督していた。ジュナー氏の健康状態は悪化し、1882 年 11 月にカナダに帰国した。彼は現在、ニューヨークで、重要な都市伝道活動に従事している。

1883 年にジョン・ジェイミソン牧師と、その妻が到着し、彼らの仕事に取り掛かった。この仕事は、1891 年にジェイミソン氏が、身体的な衰弱を繰り返し、長期間に渡って患った後、死によって呼び出され、妻はカナダに戻った。

1892 年 5 月、大学を卒業したウィリアム・ゴール牧師は、外務使節団から台湾に任命され、同年 9 月、ゴール牧師夫妻は淡水に到着した。彼らは現場の労働者達に心から歓迎され、賞賛に値する能力と、熱意を持って言語、人々、仕事の方法の研究を始めた。私が今回カナダを訪問した際、ガウルド氏は、この福音宣教に参加した、唯一の外国人宣教師であり、最近の戦争と日本の統治に対する、島民の長年に渡る、抵抗に起因する混乱と、不安の時代を通じて、この使命の問題は、極めて慎重、且つ成功裡に処理されて来た。外交委員会は、「ガウルト氏は、私達が満足出来る結果を期待する様な同情と判断力を持って、台湾での仕事を開始した。ガウルト氏が到着した直後に、マッケイ博士が帰国したことで、彼には、耐えられないかも知れない責任が、課せられることになるのではないかと、委員会はやや懸念していた。こうした懸念は、失望された。」と報告することが出来た。

阿華(A Hoa)氏、順仔(Sun-a)氏、天能(Thien Leng)氏は、この使命を遂行するに当たって、ゴールド氏と関係があり、彼らの経験と判断は、彼らに掛かっていた。

1893年の終わりに、阿華に対して、ゴールド氏は次の様に書いた。「絶えず相談していたが、私達の間には摩擦に対して、少しも交渉を始めることがなかった。彼を知れば知る程、彼を愛し、彼の正直さを信頼し、彼の判断を尊重することが出来る様になる。困難が生じた場合には、彼は必ず、騒動が起こった地域を訪問する様に命ぜられた。彼の笑顔は、彼の言葉に劣らず、常に調和を取り戻すことに成功したと発表した。しかし、この男性は、任務に対して僅か月に20ドル(銀)または11.43ドル(金)しか受け取らなかった。」

1895年の総会に提出された報告書には、宣教の統計が次の様に示されている。外国人宣教師2名。2名の土着民の叙階宣教師。60人の叙任されていない、土着民の説教者。24人の土着民の聖書の女性。1,738名の土着民の聖体拝領(男性1027、女性711)が教会に定期的に行われている。2,633名洗礼を受けた会員、礼拝所の60の診療所。病院での10,736件の治療。2,375.74ドルは、使命の目的で土着民に依って寄付された。264.10ドルは病院の為に、土着民に依って寄付された。269ドルは、病院の為に外国の共同体に依って寄付された。

同年の彼の報告で、ゴールド氏は次の様に述べている。「オックスフォード大学は、マッケイ博士の復帰を待って、まだ閉鎖されています。使命に関連して、最も有用な機関の1つであり、そして、今後、その良き日まで、その影響力を行使し続けることは、間違いないでしょう。」

「1894年には、女学校の開校が短期間で終わり、戦争が始まってからは、女の子を親から遠ざけるのは、得策ではないと判断され、家に帰しました。」

「私達の経験が長くなればなる程、土着民の聖職者の大部分は、素晴らしい仕事をしていて、2人の土着民の聖職者は優れた男性です。私が最後に新店(Sin-tiam)にある陳火(Tan He)牧師の会衆を訪れた時は、田舎町、または、むしろ村だったのですが、70人程の人が集まった、土曜日の夕方に村の礼拝が行われました。」

主の日には、朝には約 170 人、午後には約 120 人、夕方には約 70 人が出席していた。勿論、農村の人々の多くは彼らの家に戻り、夕方の礼拝に残りませんでした。こんなに気の利いた聴衆に向かって、なんて嬉しいことだろう。平日の夜の礼拝では、歌と祈りに加えて、人々に読むことを教える試みがなされます。この若い教会には確かに、色々な贈り物がある。陳(Tan)を知ることは、彼を愛することである。彼は牧師の嚴清華(Giam Chheng Hoa)程に優れた指導者ではありませんが、彼自身の領域では、最も有用な男であり、明るく、整然としていて、清潔で、真実で、忠実な牧師、良い説教者、共感する友人です。彼は長年に渡って、中国人に基督教の影響を及ぼして来たが、今でも神の恵みに依って、同じ祝福された仕事を続けている。嚴清華牧師は素晴らしい人です。福音の教義で良く教えられた彼は、忠実さと力を持って彼らに説教をします。本質的に彼は、非常に高い執行能力を有しており、20年の経験に依って改善されています。彼は、島の支配者からボロボロのアヘンを吸う乞食まで、自分の人々を知っており、彼ら全てに影響を持っています。伝道使命における、彼の任務は非常に貴重であり、我々は、彼の影響力と助言の恩恵を享受する為に、何年にも渡って許可されると信じている。他の伝道者や聖書一女性は自分達のやり方で、良い目的の為に仕事をしている。私達は、外国の援助なしに、土着民の聖職者を援助する、土着民の教会を持ち、この貧しい罪の呪われた世界の、他の部分の貧しい人々を、助けることになる時間を待ち望んでいます。昨年の死亡率は、非常に高かったものの、外国人、または土着民の使節団員が1人として、全てが大いに必要とされている仕事から、遠ざけられなかったことは、感謝の気持ちの理由です。」

「私達は、真の信者が急増することを切望しており、教会に受け入れられた人々が、キリストに忠実であり、信仰を堅持し、彼らが彼らと共に、生活していることを、彼らの人生で、はっきりと示してほしいと願っています。」前の章では、宣教活動が行われている場所や、礼拝所が建てられた、多くの点について言及した。各礼拝堂の位置が地図の1つに示され、宣教活動を施した60地点の名前が示されている。完全なリストは次の通りである。

- | | | |
|-------------------|-----------------------|---------------------|
| 1. Tam-sui. | 21. Ta-ma-ian. | 41. Poeh-oug-sia. |
| 2. Pat-li-hun. | 22. Hoan-sia-thau. | 42. Aug-chha-na. |
| 3. Go-ko-khi. | 23. Ki-lip-pan. | 43. Thiau-sang-pi. |
| 4. Chiu-nih. | 24. Ka-le-oan. | 44. Teng-phoa-po-o. |
| 5. Lun-a-teng. | 25. Pho-lo-sin-a-oan. | 45. Tang-koe-soa. |
| 6. Toa-tiu-tia. | 26. Lau-lau-a. | 46. Teng-siangkhoe. |
| 7. Bang-kah. | 27. Lam-hong-o. | 47. He-is-a. |
| 8. Sin-tsng. | 28. Sai-tham-toe. | 48. Pak-tau. |
| 9. Sia-au. | 29. Chin-tsu-li-kan. | 49. Pat-chiau-ua. |
| 10. Sa-kak-eng. | 30. Pi-thaa. | 50. Pang-kio. |
| 11. Tho-a-hng. | 31. Ta-na-bi. | 51. Toa-kho-ham. |
| 12. Ang-mng-kang. | 32. Sau-hut. | 52. Pi-teng. |
| 13. Tek-chham. | 33. Tang-mng-thun | 53. Lam-kham. |
| 14. Tiong-kang. | 34. Sin-a-han. | 54. Tiong-lek. |
| 15. Au-lang. | 35. Bu-loan. | 55. Toa-o-khau. |
| 16. Sin-tiam. | 36. Ki-bu-lan. | 56. Pak-mng-khau. |
| 17. Sck-khan. | 37. Ki-lip-tan. | 57. Gek-bai. |
| 18. Tsui-tng-kha. | 38. Toa-tek-ui. | 58. Tho-gu. |
| 19. Koe-lang. | 39. Thau-sia. | 59. Sin-kang. |
| 20. Sin-sia. | 40. Sa-kiat-a-koe. | 60. Ba-nih. |

これらの礼拝所の夫々に、土着民の説教者が配置されており、多くの場合、土着民には訓練を受けた、土着民の聖書女性がいる。オックスフォード大学の学生達は、様々な拠点の牧師を助け、福音を宣べ伝え、家から家へと、人々を教えると言う、貴重な奉仕を提供している。

礼拝所や会衆のいない多くの場所で、不定期で時折行われる奉仕がある。この様にして、使命は徐々に拡大し、その成長は実質的且つ健全である。

伝道者の何人かは、伝道の監督と淡水の教育活動に従事している。次の様な土着民の伝道者達は、その仕事の為に訓練され、備品を整え、礼拝所を管理している。

- | | | |
|------------------|----------------|-----------------|
| 1. Tan He. | 21. Tan Kui. | 41. Tsui Eng. |
| 2. Tan Leng. | 22. Eng Jong. | 42. Cliheng He. |
| 3. Go Ek Ju. | 23. Ang An. | 43. Chhun Bok. |
| 4. Tan Theng. | 24. Thong Su. | 44. Tiu Thiam. |
| 5. Chhoa Seng. | 25. Jim Sui. | 45. Bio Sien. |
| 6. Lim Giet. | 26. A Hai. | 46. Eng Seng. |
| 7. Tsun Sim. | 27. Pat Po. | 47. Chhong Lim. |
| 8. Siau Tien. | 28. Jit Sin. | 48. Teng Chiu. |
| 9. LiKui. | 29. Chin Giok. | 49. Beng Tsu. |
| 10. Lau Cliheng. | 30. Ki Siong. | 50. Tck Beng. |
| 11. Tan Ho. | 31. Pa Kin. | 51. Tu lau. |
| 12. Tan Ban. | 32. Hok Eng. | 52. Li lau. |
| 13. Keh Tsu. | 33. In Lien. | 53. Tsan Un. |
| 14. Tan Eng. | 34. Hong Lien. | 54. Tan Sam. |
| 15. Eng Goan. | 35. Kai Loah. | 55. Li Sun. |
| 16. Tan Siah. | 36. Sam Ki. | 56. Eng Chhung. |
| 17. A Lok. | 37. Keng Tien. | 57. Tsui Seng. |
| 18. Iap Tsun. | 38. A Seng. | 58. Kho Goan. |
| 19. Thien Sang. | 39. Gong A. | 59. Lim Ban. |
| 20. Iau Tsai. | 40. Tong San. | 60. Bun Seng. |

全ての重要な問題である、自立の問題は常に頭の中にあり、北台湾の土着民のキリスト教徒は、法令を守り、教会を拡張する手段を与える様に教えられている。自立した使命は私達の理想である。しかし、自立的奉仕とは、どう言う意味であろうか?自立的奉仕で、私が理解しているのは、全ての仕事を引き継がれ、関係者は宣教活動そのものに依って、支援されることである。

北台湾の教会は、大学、学校、病院、礼拝堂、その他の全ての部署が、土着民であれ外国人であれ、全ての労働者を伴い、土着民の教会の職員や信者に依って支えられる様になれば、自立するだろう。私達はその立場から、まだ長い道のりであるが、私達は道を進んでおり、その方向に向かっている。現在、4つの会衆は、完全に自立している。そして昨年、土着民自身からの寄付は2,639.84\$に達した。ヨーロッパやアメリカの教会からの援助が、不要になる前に、台湾だけでなく、中国でもなく、海外の宣教活動の全分野で、成すべき大きな仕事がある。土着民の貢献に関する統計は、本拠地での牧師や教会の忍耐を求めている。自国であれ海外であれ、異教徒が自分の改宗の料金を支払うことを期待するのは無理だ。改宗者には、自立と自己否定を教える必要があるが、異国の国々では、キリスト教を受け入れることが弾圧を招き、排斥運動、強奪することであることもある。多くの土着民の会衆には、土着民の基準に照らしても、“この世の良いものの内の有能な部分”を持っている人は、一人もいない。しかし、彼らの貧しさから、私は彼らが、福音の定めを喜んで支持するのを見た。

北台湾の宣教活動が直面しているもう一つの問題は、日本人の来航だ。我々に恐れはない。王の王は天皇や帝よりも高い。彼は全てのものを支配し、無効にするだろう。私達は推測しない。私達は事前準備はしていない。日本の問題は、他の全ての問題が直面している様に、変化する状況に対応するのに、十分柔軟な計画と、嵐を越えて神の声を聞くのに、十分強い信仰で直面しなければならない。物事が調整される前に困難、危険、試練があるが、台湾はイエスに与えられ、神の目的は果たされるであろう。

なぜ、我々は恐れなければ、ならないのか?本当に私達は、『これまで、主が私達を助けて下さった。』と言うことが出来る。私は最初の日を振り返って、読者が、決して知らないであろう初期の迫害と、危険を思い出す。木や寺院に発行され掲示され、想像を絶する様な犯罪で起訴され、人々が私と会話することを禁じた宣言を覚えている。

1879年、私は偶像崇拜の祭りで、人形として焼かれた。私は何度も脅され、侮辱され、そして虐待されて来た。しかし、"私に起こったことは、むしろ福音の促進の為に起こった。"そして今、イエス・キリストの教会は、北台湾の道徳的、精神的な生活における真の要因であり、積極的な力である。

言われたことから、宣教活動は失敗と言われるのであろうか?現在、北台湾の教会で、2,000人以上のイエス・キリストの告白者達が、異教の暗闇の中で生まれ、その殆んどが異教の暗闇の中で生まれ、キリスト教の思想が浸透した、人々の社会的および道徳的な生活を送っている。一部の未読および未旅行の評論家から、宣教のお金は浪費され、宣教の成功は単なる感傷であり、改宗者は立っていないと言われるだろうか?私は外国での伝道活動について、何かを知っていることを公言し、地上で直接それを研究し、地球の円周の半分の距離でそれを調べた。私は中国人、異教徒、キリスト教徒の性格、そして中国以外の国の男性の。何かを知っていると公言する。そして、清廉さと忍耐、キリストへの不屈の忠節、そして、キリストへの奉仕における不屈の忠節の為に、今日、北台湾 100 の教会には、キリスト教世界のどんな共同体や、どんな信徒に対しても、名誉を与える人達がいることを断言する用意がある。私は彼らが、火獄の中に、投げ込まれるのを見た。そして、彼らが直面することを知っている。私は、戦いが終わった時を見た、そして、それが良いことであると知っている。私は、彼らが死ぬ為に、横になっているのを見て来た。そして、どの兵士一聖人であれ、殉教者であれ、英雄であれ、彼らは"彼の至福の頂点まで、一人一人を焼き上げた"のである。彼らは見捨てられると、私に言わないで貰いたい。その内 400 人は、登録され、イエスの御前に入り、北台湾の白い畑で熟した最初の収穫の実である。

しかし、その半分は語られていない。これらの章は断片に過ぎない。今日も明日も、その話は書けない。本当の話は終わっていない。未だ始まったばかりだ。神の書の未だ読まれていない頁から追加される章がある。台湾は、オリオンやプレアデスと同じ様に、神の目的に根ざしている。その目的は"急速に成熟し、1時間毎に展開する" その実現を助ける為に、過去の歴史からの、この断片は切り離され、家にある教会に送られ、私達は以前のものに向かって伸びて、再び遠くの台湾に行く。私達は恐れていない。私達は、確実な勝利に照らされて、生きることが出来ます様に。嗚呼、イエスよ、私達の高き贖い王、そして、イエスの全ての教会は、イエスが来るまで、ここと向こうにあり、忠実で真実です。私達は、確実な勝利に照らして、生きることが出来ます様に。世界の王国は、私達の主と、そのキリストの王国となる。島は彼の法を待っている。